

会議録

平成30年第3回

仙南地域広域行政事務組合
教育委員会定例会会議録

平成30年10月15日開議

平成30年第3回仙南地域広域行政事務組合教育委員会会議録

1. 召集日時 平成30年10月15日（月） 午前10時
2. 召集場所 仙南芸術文化センター会議室
3. 出席委員 教育長 船迫邦則，委員 佐山富夫，委員 佐藤よし美，委員 大沼吉朗
4. 欠席委員 委員 菅原紀治
5. 説明のため出席した者
 教育次長兼視聴覚教材センター所長 加藤雅章
 仙南芸術文化センター館長 水戸雅彦
 主幹兼教育係長兼文化振興係長 黒澤良，仙南芸術文化センター次長 玉渕博之
 主事 山田純士
6. 開 会 午前10時

7. 平成30年第2回教育委員会定例会会議録の承認について

船迫教育長	会議録について承認を求めます。
(質 疑)	<ありません>との声
船迫教育長	質疑ないものと認め、会議録を承認します。

8. 会議録署名委員の指名

船迫教育長	私のほか、大沼吉朗委員にお願いいたします。
大沼委員	はい。

9. 諸報告

報告第1号 平成30年6月から同年9月までの主な事業等の経過について

教育委員会事業について、黒澤主幹よりご説明申し上げます。

仙南芸術文化センター事業について、玉渕次長よりご説明申し上げます。

(質 疑)	
大沼委員	あずなびあまつりについて、主催者側の苦労とは
玉渕次長	年々規模が大きくなってきていることだと思います。やりたいのは、体験型プログラムという位置づけになっていますから、どんな体験コーナーがあって、子供たちに伝えるのが趣旨になっています。そのために、かえっこバザールというツールを使っているのですが、この位の規模になると、どうしても1対1で対応しなければならないが、どうしてもスタッフが足りなくて、外側から協力をいただいているのですが、なかなか毎年募集に苦労しています。
船迫教育長	前年度と比べて協力者は？
玉渕次長	横ばいですね。大学生とか地域のジュニアリーダー、各市町の方々も年々減っているという現状もあって、協力体制がうまくつながっていくことが重要になると思います。
佐藤委員	あずなびあまつりは、やはり子連れですか。地域の参加はどうか？大河原町や柴田町の方々が多いのか、白石市の方では自分自身はわからないで過ごしてきたので、その大河原以外の地域の参加はどうか？

玉 渕 次 長	告知の点でいうと、一律なんですけれども、チラシを配るだけ、すごくシンプルなもの、他にも色々と媒体はあるんですが、主に2市7町の小学生、幼稚園、保育所の子どもたちにチラシを配る、チラシも毎年結構工夫しているんですが、子供たちが食らいつくようなビジュアルで、子供たちがこれに行ってみたいとなれば、お父さんやお母さんを連れてくる、よって親子になるわけですが、小学生以上になってしまうと、告知の対象にならないというのがあります。この参加型プログラムは、大人も子供も楽しめるというコンセプトなので、親子で楽しめるというイベントになればいいと思います。告知の仕方がピンポイントで焦点を当ててやっています。一応、大河原が中心となりますが、結構色々な所から来ています。逆にかえっこバザール自体は、圏域外のいろんな所でやっているということからも、うちではチラシを置いてもらったりしています。
佐 藤 委 員	チラシは各学校にですか？
玉 渕 次 長	教育委員会を通して、配付しています。公民館にも置いています。
	<質疑なし>

10. 議事

議案第1号 仙南地域広域行政事務組合教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価について

平成30年9月27日に行った教育行政点検評価員会議における平成29年度仙南地域広域行政事務組合教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価の結果について、黒澤主幹及び玉渕次長より別紙資料1にてご説明申し上げます。

(質 疑)	
佐 山 委 員	評価員は2名ですか？
黒 澤 主 幹	2名となっています。
佐 山 委 員	評価員会議は1日で終わるのか？
黒 澤 主 幹	事前に資料をお送りしまして、内容を見て頂いて、会議の日の一つ一つ意見を頂くという形で1日で終わります。
船 迫 教 育 長	評価員はずっと2名ですか？
黒 澤 主 幹	ずっと2名です。大きく分けると学校教育と社会教育からそれぞれ1名ということをお願いしてきたのですが、派遣社会教育主事がいなくなってからは、どなたにお願いしたらいいのか、というのがありましたが、今回は2年連続ですが退職後活動されていますが、やってもいいとのことで、大脇先生にお願いしました。
船 迫 教 育 長	鈴木先生と大脇先生は継続ということですが何年ですか？
黒 澤 主 幹	大脇先生は2年、鈴木先生は3～4年やっていただいております。
船 迫 教 育 長	特段、期間は決めていないのですか？
黒 澤 主 幹	決めておりません。現在の評価員からどうしてもという声が上がらない限り、継続したいと思っています。もし、自分が辞めるのであれば、自分の後任を紹介していただきたいとお願いしています。
船 迫 教 育 長	佐山委員の意見で増員はできないのかということですが、増員の見通しはありますか？

教 育 次 長	私共の教育委員会の場合、市町の教育委員会と違って持っている分野が限られており、大体2名ということをお願いしています。お願いしている委員の方については、年度毎委嘱しているということもありますので、例えば、今後事業を進めていく場合において、これまでにないような事業が加わってくるとか、そういった形で実施することが出てきた場合については、新たな委員をさらに加えてお願いするというのも考えていければと思っています。当面の事業のボリュームからすると、2名でいいのではないかと考えています。何分、市町での学校教育という部分がないものですから。
	<質疑なし>

1 1. 次回教育委員会定例会の日程について

船迫教育長	平成30年11月26日午前10時から、次回の定例会を実施いたします。
-------	------------------------------------

1 2. その他

(1) 平成30年度仙南地域広域行政事務組合教育費補正予算(第1号)について

山田主事より別紙資料2にてご説明申し上げます。
今回の補正の要点は前年度繰越金の処理である。

(質 疑)	<質疑なし>
---------	--------

(2) 平成30年度仙南地域広域行政事務組合仙南芸術文化センター特別会計補正予算(第1号)について

山田主事より別紙資料3にてご説明申し上げます。
今回の補正の要点は前年度繰越金及び確定した国庫補助金の処理である。

(質 疑)	<質疑なし>
---------	--------

(3) 仙南芸術文化センター機能維持修繕計画について

加藤教育次長より別紙にてご説明申し上げます。

(質 疑)	
大 沼 委 員	耐用年数とか色々出ていますが、業者に調査をしてもらってこの年度くらいで修繕した方がよいというようなアドバイスとか資料はないのですか？
教 育 次 長	ございます。これについては、施設の機器設備の維持補修・点検を業者をお願いしておりまして、その都度、点検いただく度に報告書が出てきております。その報告書にこの設備の経過年数や部品供給が途絶えます、とか、本来の更新時期から何年経過しています、といった指摘が毎回出ています。そういった根拠となるものについては、すべてございます。
佐 山 委 員	どこでも、このような施設を建設すれば、メンテナンスが必要であるし、国の補助金とかはないのですか？
教 育 次 長	残念ながら、今回、東日本大震災で釣天井が落下して、危険なので修繕しなければならない、とか一部対象になるような国の補助金はあるのですが、一般的なこういった更新ですとか機能維持に関しては、ほぼメニューはございません。国の方でも力を入れているものについては、例えば、耐震ですとか、大義名分があるものにつ

	いては補助金があります。組合にごみ処理施設がございませう。こういった施設の更新ですと、起債を借入しての交付税措置として、償還金の何割かを負担を軽くしますよ、という取り組みもされています。今、現在、工事しております柴田や白石の斎苑などはそのような財政措置がされているものが一切ございませう。メニューによってサポートが受けられるものと受けられないものがございまして、一般的な維持補修に関しては残念ながら補助金がないという状況です。
佐山委員	休館しているときに、活動が制限されますが、ある意味、仙南の文化レベルが抑えられる、停滞することがないようにしていただきたい。
教育次長	できるだけ停止期間が短くなるようにしていきたいと思ひます。仙南圏域の施設の連携も必要になります。
船迫教育長	教育委員の方々にこれまでの経過について説明していただきたい。
水戸館長	これまでの経緯について説明します。すでに、23年目に入っているわけですが、3、4年前から修繕、補修にかかる計画は作成して、担当課長会議には諮ってきたところですが、財政担当課長には、各市町にお邪魔して説明してきた経緯はあるのですが、そこから次の段階、ゴーサインをいただくまで、持っていくことが出来なかった状況もございました。そういった状況が2度ほどございました。その間に3年経過してしまっているわけですが、今、加藤次長がお話をしたように、もう色々な部品が調達できない状況が続いておりまして、これからどんどんトラブルが予想される。大変な状況にいるという認識でご理解をいただきたいと思ひます。
教育次長	3町の部分についてですが、なぜ、仙南芸術文化センター、2市7町の施設になっているにもかかわらず、3町しか負担していないのか、ということです。元々、この施設は、県が整備した施設であり、仙南トライアングルネットワークといった計画を県が持っていたようでございます。バブルで自治体の財政も潤っていた時代に、仙南地域を3郡に分けて、3ヶ所に文化施設を整備し、最終的には無償で譲渡する形にして、地域の文化を活性化していただきたいといった計画がありました。まず、どこから整備するか、ということで、手を挙げたのがえずこホールです。2市7町の施設になるが、大河原町に設置されるので、大河原町の近隣の3町で負担をする。また、旧郡単位でいうと、刈田、伊具がございませうが、角田市に整備されれば、角田市と丸森町で負担する、刈田郡に関しては、白石市、蔵王町、七ヶ宿町に整備されれば、その中で負担をするということで、県で整備して、地元が運営するような流れを考えていたようです。残念ながら、バブル崩壊したタイミングで、1か所で終わりだという話になりまして、3町の負担ということで組合の規約にも組み入れられているという、変則的な形となっています。
船迫教育長	規約に基づいているということです。規約がありながらも、課長会議が2度開催されて、その中身について委員の皆様にも知っていただきたいと思ひます。
水戸館長	2市7町の課長には、一通り説明はしたのですが、それに基づいて、意見を頂きました。なかなかこれまでの経過がありますので、新しい状況を作ることが難しいということで、その後、3町の担当者だけで協議、打合せを行っております。そこから、上の段階、実際に実施計画に移していくには至らなかったということです。
船迫教育長	今回、この計画が提案されるということで、3町の課長、首長さんが規約に則っているですよ、ということは見込まれているのですか？
教育次長	これは、何とも言えないですけども、私たちとしても、とにかく3町の財政負担

	<p>が大きいということで、やりたい項目は山々あるのですが、費用を抑えて現実的な数字に出来るかということについて、これまで立案してきた以上に踏み込んで計画を作ったところではあります。何とかご理解をいただきたいと思ひまして、説明にお伺いしようかと考えております。2市7町の負担につきましても、先ほど申し上げた経緯もございまして、何とか3町の方でご理解いただきたいと思ひます。財政状況が厳しい中で、計画を提案するしかないといったところではあります。</p>
	<質疑なし>

(4) 仙南芸術文化センター企画・制作業務に係る職員の体制について

加藤教育次長より別紙にてご説明申し上げる。

(質 疑)	
船迫教育長	新たな人材は見つかりそうですか？
水戸館長	今、お話しした人材については、色々な方面から可能性がある方向で進んでいければと思ひます。色々と考えて、動いております。
船迫教育長	もし、却下された場合は？
教育次長	専従の職員がいなくなると、ホールの企画立案の内容が薄くなると考えられます。担当出来る、こなせる本数も限られると考えております。補助金にも影響すると考えております。
玉渕次長	拠点としての機能を持つということでの補助金ですので、これがもし外れてしまったら、ゼロになる可能性もあります。
船迫教育長	委員の方々には、今のお話を受け止めて頂いて、総合教育会議の折には感じたところを出していただければと思ひます。
	<質疑なし>

13. 閉 会 午後12時7分

上記の会議の顛末を記録し、その内容が真正であることを証するためにここに署名する。

平成30年10月15日

教育長

署名委員